

市内でのスス状物質の飛散について

平成 23 年 9 月 13 日

苫小牧市環境保全課

平成 23 年 7 月下旬から 8 月上旬にかけ、市内東部地域の民家の物干し竿や自動車等に黒いスス状物質がついているとの苦情が複数寄せられました。

発生源としては、工場や船舶、廃棄物焼却なども考えられましたが、苦情発生時の気象状況やその範囲から、発生源は南側で、ある程度規模の大きなところが想定されました。そのため、臨海部の工場に対し、北海道と合同で公害防止協定に基づく立入調査を行いますが、特に異状は見られませんでした。

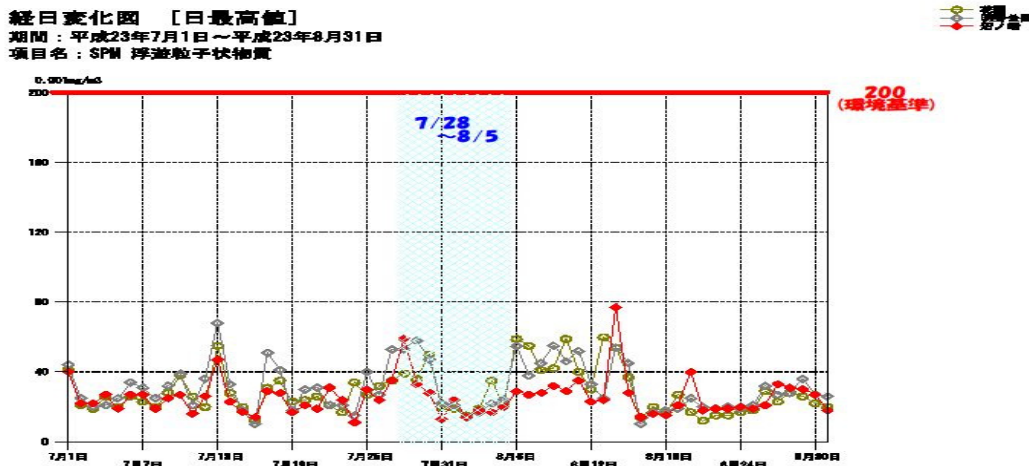
8 月 5 日を最後に苦情が発生していないことから、スス状物質の発生は収束したと考えられます。

本件については原因の特定には至っておりませんが、引き続き情報収集や監視に努めてまいります。

苦情発生件数	9 件
苦情発生期間	7 月 28 日～8 月 5 日
苦情発生場所	明野新町、柳町、新明町、新開町、明野元町、 拓勇西町
苦情発生時風向	主として南風

(参考)

大気汚染明野公園測定局(明野新町 3 丁目)における「浮遊粒子状物質」は、苦情発生期間の濃度上昇がみられず、環境基準にも適合していました。



「浮遊粒子状物質」：粒径 10 μ m(粒の大きさが 100 分の 1 ミリメートル)以下の粒子のことをいい、大気中に長時間滞留し、高濃度で肺や気管などに沈着して呼吸器に悪影響を及ぼします。

【環境基準】1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

経日変化図 [日最高値]

期間：平成23年7月1日～平成23年8月31日

項目名：SPM 浮遊粒子状物質

- 花園
- ◇ 明野公園
- ◆ 沼ノ端

